



〈編集・発行〉  
独立行政法人 国立病院機構  
奈良医療センター  
<https://nara.hosp.go.jp/>

# りえぞん

Liaison

vol.45

独立行政法人国立病院機構 奈良医療センター

令和3年5月

医療関係者の皆様へ 「りえぞん」(Liaison)とは、フランス語で「連携・つなぐ」といった意味をもちます。  
奈良医療センターは、地域の医療機関との連携を深め地域医療の推進に努めていきたいという思いで付けました。

### 病院理念

私たちは、質の高い医療を提供し、地域の皆様の健康を支援することにより、信頼される病院を目指します  
患者第一、安心安全な先進医療を提供します

### 令和3年度 病院目標

呼吸器疾患と神経疾患を中心とした  
「面倒見のいい病院」の機能を高める



Contents

● 地域医療連携を推進します！	————— 2	● 着任ご紹介	————— 6
● 部内紹介 栄養管理室	————— 3	● 新型コロナウイルス対応状況	————— 7
		● 連携施設のご紹介コーナー VOL.7	————— 8



大西 逸馬事務部長

## 地域医療連携を推進します！！

当センターは世界遺産の唐招提寺や薬師寺がある西ノ京地区に位置しており、今年で開設71年となります。これまで呼吸器疾患と神経疾患を中心とした「面倒見のいい病院」を目標としてきましたが、今年度も地域の病院、診療所の先生方のみならず、福祉・介護の方々とも連携を密にして、患者さんの目線で地域医療に貢献していく所存です。

地域医療連携を推進するため、面倒見のいい病院の各指標に関係する項目を中心に当センターの取組みや今後の活動を紹介します。

### ○入退院支援・介護連携

- ・多職種による退院支援の実施に加え、入院支援センターを設置するなどし、在宅医療・介護関係者との連携体制作りを進めます。
- ・当センターは奈良県における結核医療の中核病院です。結核病床30床を有し奈良県内及び近隣府県から広く患者さんを受け入れています。結核患者さんが退院する前には保健所の保健師を含めた多職種によるDOTS（直接服薬確認療法）カンファレンスを行い患者支援に努めているところです。一方で結核退院基準を満たしながら、病院や介護施設等への転院がなかなか決まらない現状が課題となっています。紙面をお借りし施設間連携へのご理解、ご協力を賜れば幸いです。

### ○在宅医療への支援

- ・従前から取り組んでいる重症心身障害児（者）の短期入所事業に加え、神経筋疾患や在宅人工呼吸療法、在宅酸素療法中の患者さんのレスパイト入院の受け入れ体制の強化を図ります。
- ・在宅の重症心身障害児（者）を支援するため多機能型通所事業所「ほかほか」（定員15名）の運用体制について、これまで同様、コロナ感染症蔓延期などの有事においても継続したサービス提供に努めます。
- ・在宅の重症心身障害児（者）について、病院専門スタッフによる巡回訪問が行えるよう体制の整備を進めています。在宅支援から通所支援事業、長期入院へと切れ目なく支援できる体制を目指しています。
- ・研修会・講演会を通じて、地域の医療・福祉・介護に従事する方々が在宅医療に役立てられるよう、当センターの呼吸器疾患や神経筋疾患の治療内容や在宅での注意事項の周知などの情報発信に努めます。

#### 今年度予定している研修会

地域連携室勉強会（内容未定）

症例検討会

### ○増悪患者の円滑な受入れ

- ・介護施設や福祉関連施設との連携を強化し、特に日中の入所者の状態悪化時の受入れ体制を充実させます。

### ○リハビリテーション

- ・脳血管疾患や呼吸器疾患リハビリテーションについて、関係医療機関等へのPRを行い、多くの患者さんにご利用いただける体制を作ります。

## ○食事・排泄自立への取組

- ・栄養サポートチーム（NST）、摂食嚥下チームを作り活動しています。栄養指導や摂食機能障害を持つ患者さんへの他職種チームによるケアの更なる充実を図るとともに、在宅訪問栄養指導の実施に向け体制整備を進めます。

## ○認知症へのケア

- ・ユマニチュードインストラクターによる研修を実施しています。当該研修受講者を多数、病棟に配置して認知症ケアを実践しています。

## ○QOL・自己決定の尊重

- ・患者さんの尊厳を守るとともに、患者さんが望む生き方・人生の最終段階における医療に関する意思決定を支援することが求められています。（アドバンス・ケア・プランニング：ACP）当センターではACPに関する研修会への参加や企画を通じて在宅医療・介護関係者と連携しつつ院内の体制整備に取り組んでいきます。
- ・身体拘束を行わない組織作りをめざし、虐待防止委員会による院内ラウンドの実施など虐待防止の取組を進めています。

## ○高額医療機器の共同利用促進

- ・令和3年3月にX線CT装置（X管球80列）を更新しました。  
当機器の共同利用（予約）については当センターのホームページをご参照ください。

病院職員一同、皆様と顔の見える関係づくりを進めて参りますので今後とも奈良医療センターをよろしくお願い申し上げます。

# 部門紹介

## 栄養管理室

こんにちは！栄養管理室です。美味しく安全なお食事の提供をし、患者さまが良好な栄養状態で入院生活を過ごしていただき、退院後もより良い生活を送るために栄養面でのサポートを行うことが私たちの務めです。私たちが患者さまに行っていることを紹介します。

### 【患者さんが喜ばれるお食事を提供します】

#### ◆選択食

お食事に制限がない方（一般食）には、2種類の常菜からお好きなメニューをお選びいただけます。麺類、変わりご飯などバラエティーに富んだお食事をご用意しておりますので、お好みの方をお選びください。



◆季節のメニュー、行事食

お正月、節分、七夕、クリスマスなど行事に合わせたメニューや季節の食材をとりそろえたメニューで四季をお食事でも楽しめるようにしています。















◆外食産業とコラボしたお食事

吉野家の牛丼、ココイチのカレーなど外食産業のお食事を提供して、入院中でも外食のメニューを召し上がっていただけるようにしています。



◆食事がすすまない方のお食事

食欲がない時に食べやすい雑炊、お寿司、麺類などのメニューを用意しており、管理栄養士が患者さまにお聞きして少しでもお食事できるようメニューを組み合わせます。

1  鶏とじうどん	2  カレー	3  ラーメン	4  お好み焼き
5  焼きそば	6  サンドイッチ	7  そうめん	8  唐八寿司・いなり寿司
9  チャーハン	10  鶏そうめん	11  さつねうどん	12  ちらし寿司
13  ざるそば	14  親子丼	15  てんかすそば	16  おにぎり

◆人間ドックを受けられた方のお食事

ドックの前日は検査のために朝から絶飲食になります。たくさんの検査が終わってゆっくりとお寛ぎいただけますよう、美味しいドック食をご用意しております。管理栄養士が考案した野菜たっぷり『贅沢ヘルシーメニュー』です。



**◆飲み込みのしづらい方への食事**

咀嚼（かむ力）が弱まってきたり、歯牙の噛み合わせ悪くなった患者さまに対して、食事を刻んだりミキサーしたりして提供する場合があります。 その形態にひと手間、ふた手間プラス愛情で食べ易く、見た目にも美味しい食事を提供しています。



**【栄養指導で食生活について一緒に考えます】**

**◆個人栄養指導：入院中もしくは外来に通院されている方が対象**

糖尿病・心疾患・腎疾患・がん・食物アレルギーなどの疾病や、噛む力が弱くなった・ムせる・食べ物の飲みにくい方の食品の選び方や調理方法などを、患者さまにそった内容でご提案をさせていただきます。嚥下造影検査結果で嚥下状態を確認したり、身体組成（DEXA）で評価した上で指導をすることもあります。管理栄養士にお気軽にご相談ください。

**◆集団栄養指導：入院中の方が対象**

減塩・糖尿病教室は、医師・薬剤師・看護師・検査技師・理学療法士・管理栄養士がそれぞれ、食事療養に関する情報をお話しします。

**集団教室のご案内**

患者さま、ご家族さま、ご興味のある方へ  
この教室は集団栄養指導科805の保険医療の対象になります。  
参加ご希望の方は、主治医にお申し付けください。

糖尿病教室					
4月6日(火)	5月11日(火)	6月8日(火)			
糖尿病とは？	糖尿病の検査	運動療法	理学療法士		
糖尿病腎症	合併症について	糖尿病の食事療法	管理栄養士		

減塩教室					
4月20日(火)	5月25日(火)	6月22日(火)			
ここが知りたいお菓の話	体重管理のポイント	血圧測定について	看護師		
血圧と塩分		外食のコツ	管理栄養士		

開催日：上記の開催日（変更の場合はお知らせ致します）  
時間：14:00~15:00  
会場：3A病棟カンファレンス室



**【チーム医療で栄養面のサポートをします】**

**●褥瘡対策チーム**

褥瘡（じょくそう）とは、いわゆる床ずれのことです。褥瘡は血流障害や栄養不良、皮膚の汚染などさまざまな要因が重なってできてしまいます。医師・看護師・薬剤師・管理栄養士がチームを組み、それぞれの専門性を生かし褥瘡対策に取り組んでいます。

**●摂食・嚥下チーム**

医師・摂食・嚥下障害認定看護師・言語聴覚士・管理栄養士が協力し、嚥下障害のある患者様の栄養管理を行っています。安全に美味しく食事をとっていただけるよう活動しています。

## ●栄養サポートチーム (NST)

患者さまの栄養管理を行う事はとても重要なことです。Nutrition (栄養) Support (手助けする) Team (チーム) の頭文字をとりNSTと呼ばれる栄養サポートチームは、診療部長をチームリーダーに内科医師・看護師・薬剤師・管理栄養士など関係職種がチームを組み、患者さまの栄養を手助けする活発な活動をしています。

## ●病棟でのカンファレンス

その他、病棟での入退院支援カンファレンスやリハビリカンファレンスに参加して多職種の医療スタッフと情報交換を行いながら患者さんの退院に向けての栄養メニューなどを提案しています。

# 着任ご紹介



看護部長  
八軒 美幸

4月1日付で着任いたしました看護部長の八軒美幸と申します。奈良で勤務するのは初めてになりますが、情緒ある景観に歴史の深さを感じながら、日々心癒やされ、このような環境の中で勤務させていただけることを大変嬉しく思っています。

当院の看護部では、患者さまの「生きたい」に寄り添い、「生きるチカラ」を支える看護を目指しています。そのためには、一人ひとりの「人」を大切に、思いやりのある丁寧な看護を実践し、患者さまやご家族、地域の方々から安心、信頼を得られるよう取り組んでいきたいと思えます。そして、職員一人ひとりがやりがいや達成感を感じ、生き生きと働き続けられる環境を整えられるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



専門職  
東原 直輝

4月1日付けで近畿グループより昇任で参りました、医事専門職の東原直輝と申します。

奈良県の病院で働くのも、医事業務も初めてとなります。経験が浅いため、いろいろとご迷惑をお掛けするかもしれませんが、少しでも早く慣れて奈良医療センターの発展に貢献していきたいと思えます。

宜しくよろしくお願いいたします。



理学療法士長  
森 将貴

このたび、兵庫あおの病院から参りました理学療法士長の森です。35年前の6月に理学療法士養成校1学年初の見学実習が当院でした。私の記憶が確かなら、西の京駅から徒歩で……。草で囲まれ目視不可能な池からウシガエルの鳴き声が聞こえてきました。実習はというと？長くなるので止めます。

兎にも角にも、縁あって奈良医療センターで仕事ができることを感謝するとともに、皆様へご迷惑をかけないように頑張りしたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

# 新型コロナウイルス対応状況



コロナ入院患者様の待合スペースを購入しました。



冷暖房完備です！



医療従事者のワクチン接種も終わりました♪



コロナ病棟は、他の病棟からも隔離されています。

# 上田医院・北和診療所

上田 明美院長

当院は私の父が昭和31年大和郡山市に上田医院を開設 昭和43年に現在地（大和郡山市九条町362-2）に移り、名称を「上田医院・北和診療所」に変更しました。私は20年間の勤務医（奈良医大第一内科）の後、平成10年に後を継ぎ、同時に医院を建て替えました。

当院には医師としての心得三戒が有ります。

これは私が医学生時代、父から何度か聞かされたものです。

- 1つ「医見病不見人」（医は病を見て人を見ず）
- 2つ「医の世に生活するは人の為のみ、己の為にあらず」
- 3つ「風は吹き波は立つとも、志固くありなば道安からん」

これらは全て父が学生時代（父は奈良医大第1回生）に恩師（奈良医大初代学長 今村荒男先生、奈良医大第一内科初代教授 緒方準一先生 緒方洪庵の曾孫）から頂いた言葉です。

この三戒を胸に刻み、自戒しながら日々の診療に従事しています。

最後になりましたが、奈良医療センターは当院に最も近い連携病院としてお世話になっており、これからも一層連携強化し安心した医療を地域住民に提供したいと思っております。

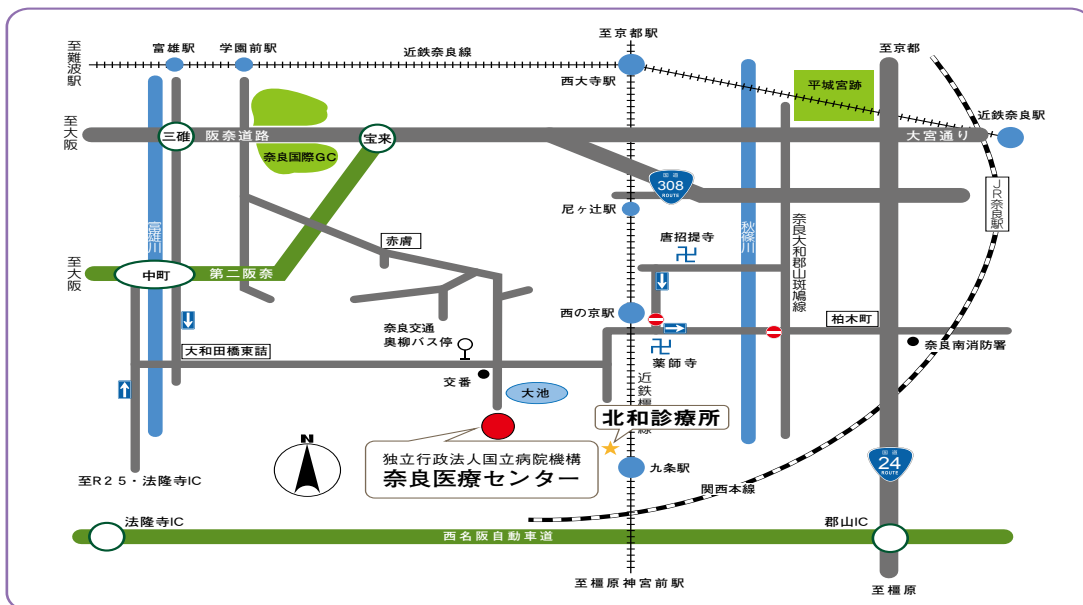
**診療科目** 内科・循環器科・小児科・リハビリテーション科・放射線科

**診療時間** 月～土 8：30～12：00 月水金 16：30～18：30

火曜日 8：30～12：00 13：00～15：00 木曜日 8：30～12：00は糖尿病外来も併設

休診 日曜日 祝日

TEL0743-52-3501 0743-53-3361



独立行政法人 国立病院機構  
**奈良医療センター**  
地域医療連携室

〒630-8053  
奈良市七条2丁目789  
TEL.0742-45-4591 (代表)  
TEL.0742-45-1563 (直通)  
FAX.0742-45-4901 (直通)